

パネル展示・体験乗

多彩な「海

祝日「海の日」(7月18日)を広くPRし、海事思想の普及と、国土交通省では7月1日の1カ月間を「海の月間」とし、海に親しむためのさまざまなトを各地で展開している。

このうち北海道と中部の各管内で行われる取り組みは以下。

■北海道運輸局

▷港湾・海浜の清掃 月間  
樽、函館、釧路、根室、留萌区で)▷海上安全祈願祭 7・室蘭、20日・函館▷海の絵パネル展 10-28日・小樽、日・函館、18日・室蘭、21-苫小牧、22-24日・釧路▷船公開、体験航海、施設見学会



①あいさつする土屋氏  
②鏡開き(中央が池田氏)

富山商船高等専門学校(現富山高専)の同窓会「北斗会」は3日、東京都内で同校創立110周年記念祝賀会を開き、卒業生ら約180人が参加した。

同校は、1906年7月3日に前身となる「新湊甲種商船学校」として創立。以来、数多くの船長、機関長をはじめとした人材を輩出。2009年10月

に富山工業高等専門学校と統合。

富山商船高専  
同窓会「北斗会」

れ、現在の富山高専となった。

祝賀会の冒頭、実行委員を代表して北斗会関東支部長の土屋正徳氏があいさつ。土屋氏は「われらの母校は110年の歴史の中で、廃校の危機が3度あったが、浅野繪一郎氏に救われた」と「明治のセメント王」と

明治のセメント王に思いはせる



呼ばれた当時の実業家に思いをはせるとともに、出席者に対して感謝の意を表した。

学校創立110周年  
都内で祝賀会

続いて、来賓を代表して国土交通省海事局長の羽尾一郎氏が祝辞を述べた。その後、北斗会会長の池田茂氏と大島商船、鳥羽商船、広島商船、弓削商船の各同窓会会長による鏡開きが行われ、富山高専校長の石原外美氏の乾杯の発声で懇談に移った。

物流・荷主・海事業界 必携のハンドブック!!

2016年版 『港運事業者要覧』

好評発売中!!

Vessel

Sinokor Yokohama  
Nithi Bhum  
Pegasus Yotta  
Victory Star  
Sinokor Yokohama